

令和5年は過去平均を上回る土砂災害が発生 ～令和5年の土砂災害発生件数を公表～

令和5年には、43の道府県で1,471件の土砂災害※が発生した。

統計開始以降(S57～)の平均発生件数(1,099件)および直近10年(H25-R4)の平均発生件数(1,446件)を上回った。

※ 土石流等、地すべり、がけ崩れ(火砕流は除く)。

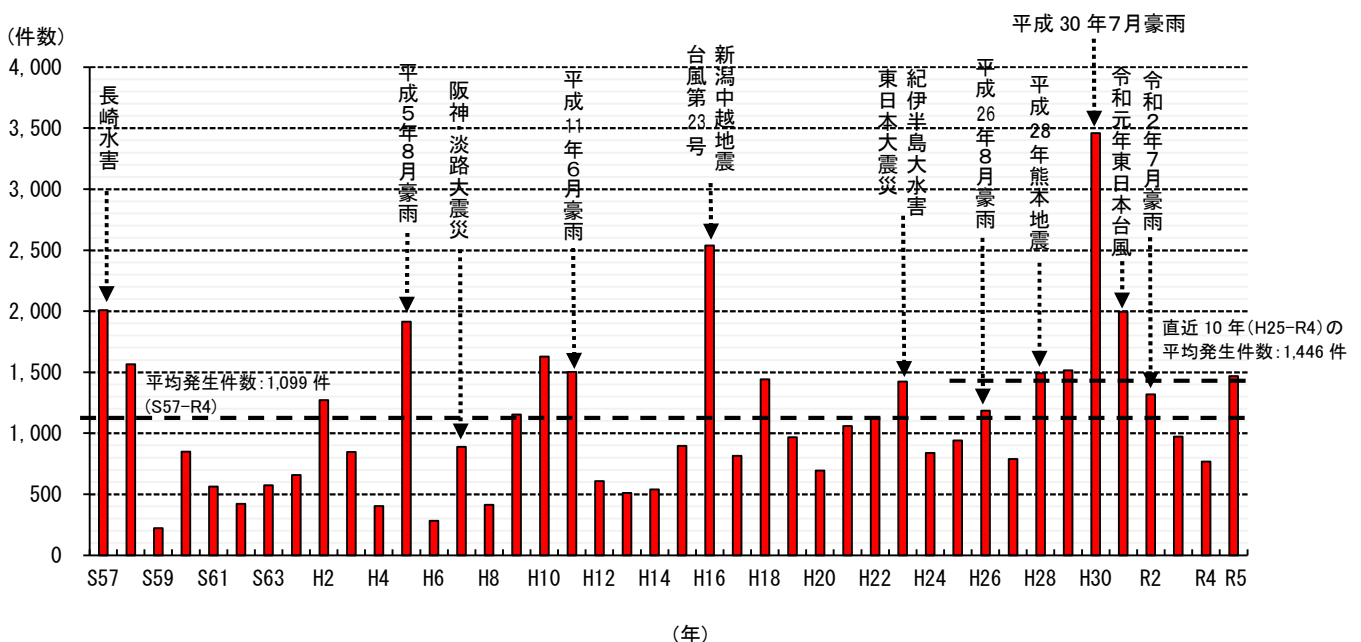


図. 土砂災害発生件数の推移 (S57～R5)

【令和5年の土砂災害】

43道府県で1,471件の土砂災害が発生し、死者8名、人家被害262戸の被害が生じた。

統計開始以降(S57～)の平均発生件数(1,099件)および直近10年(H25-R4)の平均発生件数(1,446件)を上回った。

特に、6月29日から梅雨前線により各地で大雨が降り、22県で397件の土砂災害が発生した。このうち、7月1日から12日までに9県で線状降水帯が発生し、これらの県では全数の約8割にあたる322件の土砂災害が発生した。

また、9月に発生した台風第13号では、全数の8割以上にあたる257件の土砂災害が千葉県で発生した。これは、単一の台風、単一の県で発生した件数として歴代1位となった。

(問い合わせ先)

国土交通省 水管理・国土保全局 砂防部 保全課 土砂災害対策室

課長補佐 菅原 寛明(内線 36232) 係長 大隅 翔馬(内線 36244)

代表:03-5253-8111 直通:03-5253-8470

土砂災害に関する情報は、砂防部HP : <https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sabo/index.html>

- 令和5年には、43の道府県で**1,471件**の土砂災害が発生し、**死者8名、人家被害262戸**の被害が生じた。
- 統計開始以降（S57～）の平均発生件数（1,099件）および直近10年（H25-R4）の平均発生件数（1,446件）を上回った。
- 9月に発生した台風第13号では、**全数の8割以上の257件の土砂災害が千葉県で発生した**。これは、**単一の台風、単一の県で発生した件数として歴代1位**となった。
- 土砂・流木等を捕捉した報告が53事例あり**、これまでの着実な施設整備の効果があらわれている。（各事例については、砂防部HPで公開中 https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sabo/sabo01_tk_000026.html）

土砂災害発生件数

1,471件

土石流等：125件

地すべり：57件

がけ崩れ：1,289件

【被害状況】

人的被害：死者 8名

負傷者 19名

人家被害：全壊 30戸

半壊 21戸

一部損壊 211戸

表1. 都道府県別の土砂災害発生件数 上位5県

	都道府県	件数	死者数	過去10年最多 (H25-R4)
1位	千葉県	275件	—	186件 (R1)
2位	和歌山県	134件	—	61件 (H30)
3位	佐賀県	90件	3名	76件 (R1)
4位	鹿児島県	70件	—	202件 (R1)
5位	島根県	67件	—	119件 (H25)

7/10 土石流等 からつしはまたままちひらばる 佐賀県唐津市浜玉町平原



死者：3名
全壊：2戸

7/8 がけ崩れ うなんしきすきちよう 島根県雲南市木次町



一部損壊：1戸

9/8 がけ崩れ いちはらしつきで 千葉県市原市月出



負傷者：1名
一部損壊：1戸

6/30 地すべり ゆふしゆふいんちようかわにし 大分県由布市湯布院町川西



死者：1名
全壊：1戸

気象現象別発生件数

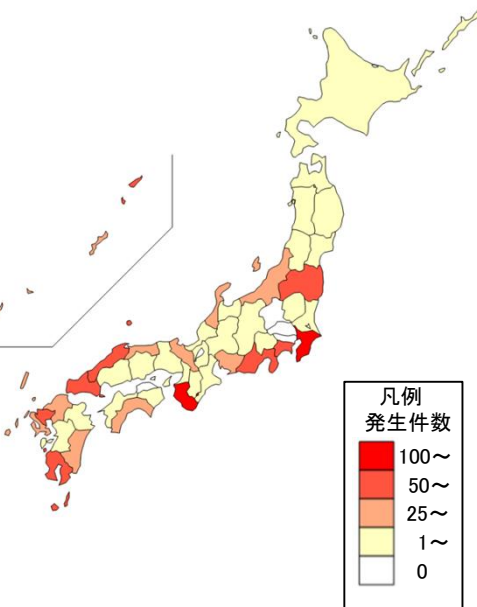
台風第2号	： 328件
6月29日からの大雨	： 397件
台風第13号	： 303件

12/16 土石流等 きたあずみぐんはくぼむらほくじよう 長野県北安曇郡白馬村北城



全壊：1戸

6/21 土石流等 おおしまぐん せとうちちよう ぐじ 鹿児島県大島郡瀬戸内町久慈



6/2 土石流等 ありだぐんありだがわちようにさわ 和歌山県有田郡有田川町二澤

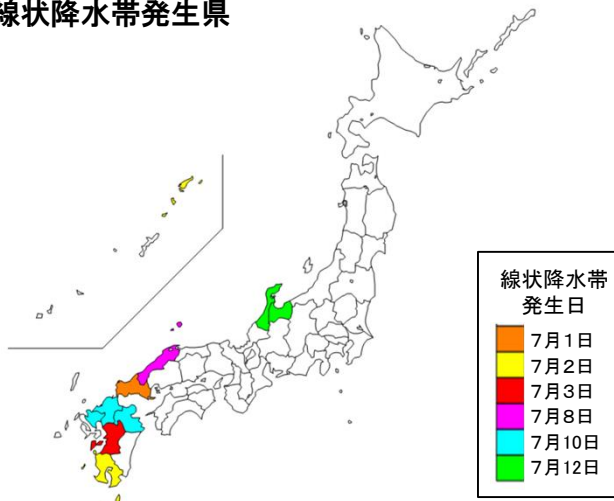


半壊：1戸
一部損壊：1戸

○6月29日から梅雨前線により各地で大雨が降り、**22県で397件**の土砂災害が発生した。このうち、7月1日から12日までに**9県で線状降水帯が発生し**、これらの県では**全数の約8割にあたる322件**の土砂災害が発生した。

○砂防関係施設により土砂・流木を捕捉したことで、被害を未然に防止した事例も確認された。
○山口県周南市福川地区では、人家被害が生じたものの、適切な避難行動により犠牲者は出なかったことが確認された。

○線状降水帯発生県



砂防関係施設の効果事例

【福岡県朝倉市 筑後川水系赤谷川の事例】



赤谷川流域では、平成29年7月の九州北部豪雨災害以降に集中的に整備した砂防堰堤等が効果を発揮し、土石流及び土砂・洪水氾濫による被害を防いだ。

【佐賀県唐津市 七山地区の事例】



佐賀県により整備された急傾斜地崩壊防止施設が崩壊土砂を捕捉し、周辺人家等への被害を未然に防止した。

上記以外に富山県、岐阜県、愛媛県、福岡県、長崎県、熊本県、大分県、鹿児島県で施設効果を確認

6月29日から的大雨における土砂災害発生件数

(6月29日～7月24日発生を集計*)
※降雨により発生した土砂災害を集計

土砂災害発生件数 397件(22県)

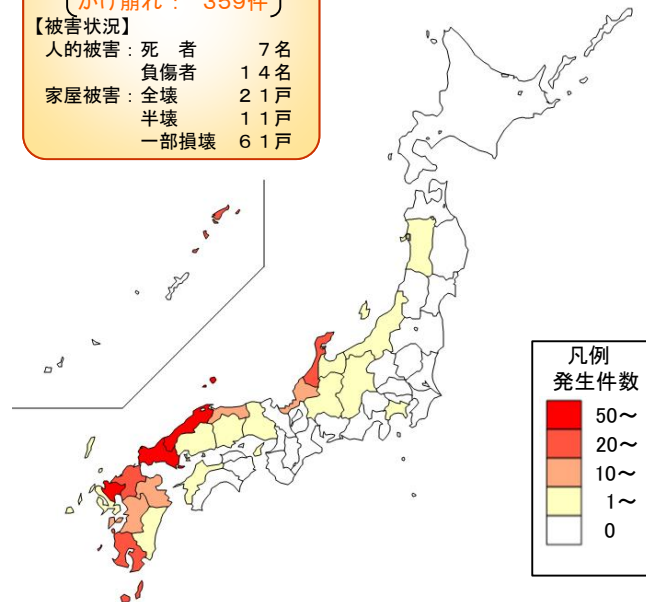
土石流等：29件
地すべり：9件
がけ崩れ：359件

【被害状況】

人的被害：死者 7名
負傷者 14名
家屋被害：全壊 21戸
半壊 11戸
一部損壊 61戸

発生件数上位5県

佐賀県	87件
山口県	57件
島根県	56件
福岡県	40件
鹿児島県	28件



7/10 土石流等 福岡県久留米市田主丸町竹野

死者：1名
負傷者：5名
全壊：8戸
半壊：2戸



山口県周南市福川地区の避難事例

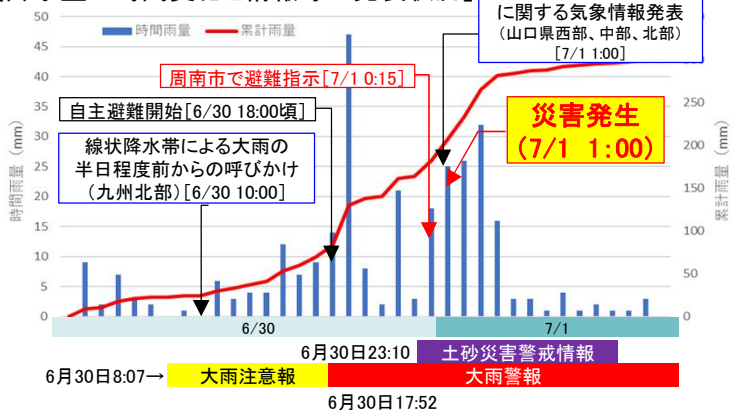


土砂災害特別警戒区域内でがけ崩れが発生 (人家一部損壊1戸)



線状降水帯による大雨の可能性について呼びかけがなされるなど、大雨や土砂災害に関する情報を基にした事前避難により、人的被害はなかった。

【降水量の時間変化と情報等の発表状況】



地域	都道府県	発生件数
○北海道	北海道	17件
○東北	青森県	1件
	岩手県	10件
	宮城県	2件
	秋田県	10件
	山形県	1件
	福島県	60件
○関東	茨城県	3件
	栃木県	3件
	群馬県	0件
	埼玉県	0件
	千葉県	275件
	東京都	0件
	神奈川県	51件
	山梨県	2件
	長野県	22件
○北陸	新潟県	42件
	富山県	12件
	石川県	37件
○中部	岐阜県	19件
	静岡県	59件
	愛知県	45件
	三重県	5件

地域	都道府県	発生件数
○近畿	福井県	11件
	滋賀県	2件
	京都府	29件
	大阪府	13件
	兵庫県	23件
	奈良県	7件
	和歌山県	134件
○中国	鳥取県	41件
	島根県	67件
	岡山県	1件
	広島県	13件
	山口県	62件
○四国	徳島県	6件
	香川県	0件
	愛媛県	7件
	高知県	38件
○九州	福岡県	40件
	佐賀県	90件
	長崎県	43件
	熊本県	15件
	大分県	11件
	宮崎県	29件
	鹿児島県	70件
○沖縄	沖縄県	43件

計:1,471件